【事業名】浪江町復興スマートコミュニティ構築事業

■ 事業概要

主な事業者	浪江町 （建設技術研究所、東北電力、富士電機）※
事業場所	福島県浪江町
事業期間	◆マスタープラン策定事業 平成28年3月～平成29年6月 ◆スマートコミュニティ構築事業 平成30年4月～令和2年12月
事業費および補助金額	・事業費総額：660,228（千円） ・補助金額　：440,151（千円）
主な導入設備	・CEMS ・BEMS：8施設　HEMS：112施設 ・太陽光発電設備：304.8kW（88施設） ・風力発電設備：3.0kW（１施設） ・エネファーム：26基 ・EV：13台（520kWh分相当） ・純水素燃料電池設備：3.5kW　　等

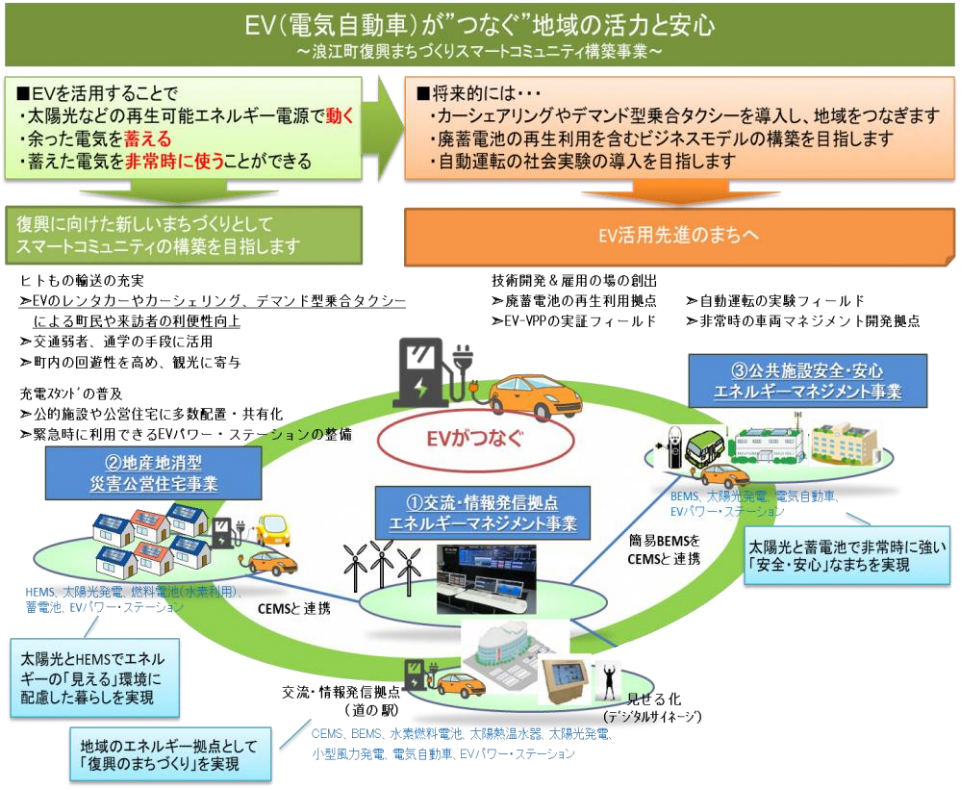
■ 事業の目的および特徴

※マスタープラン策定時参加企業

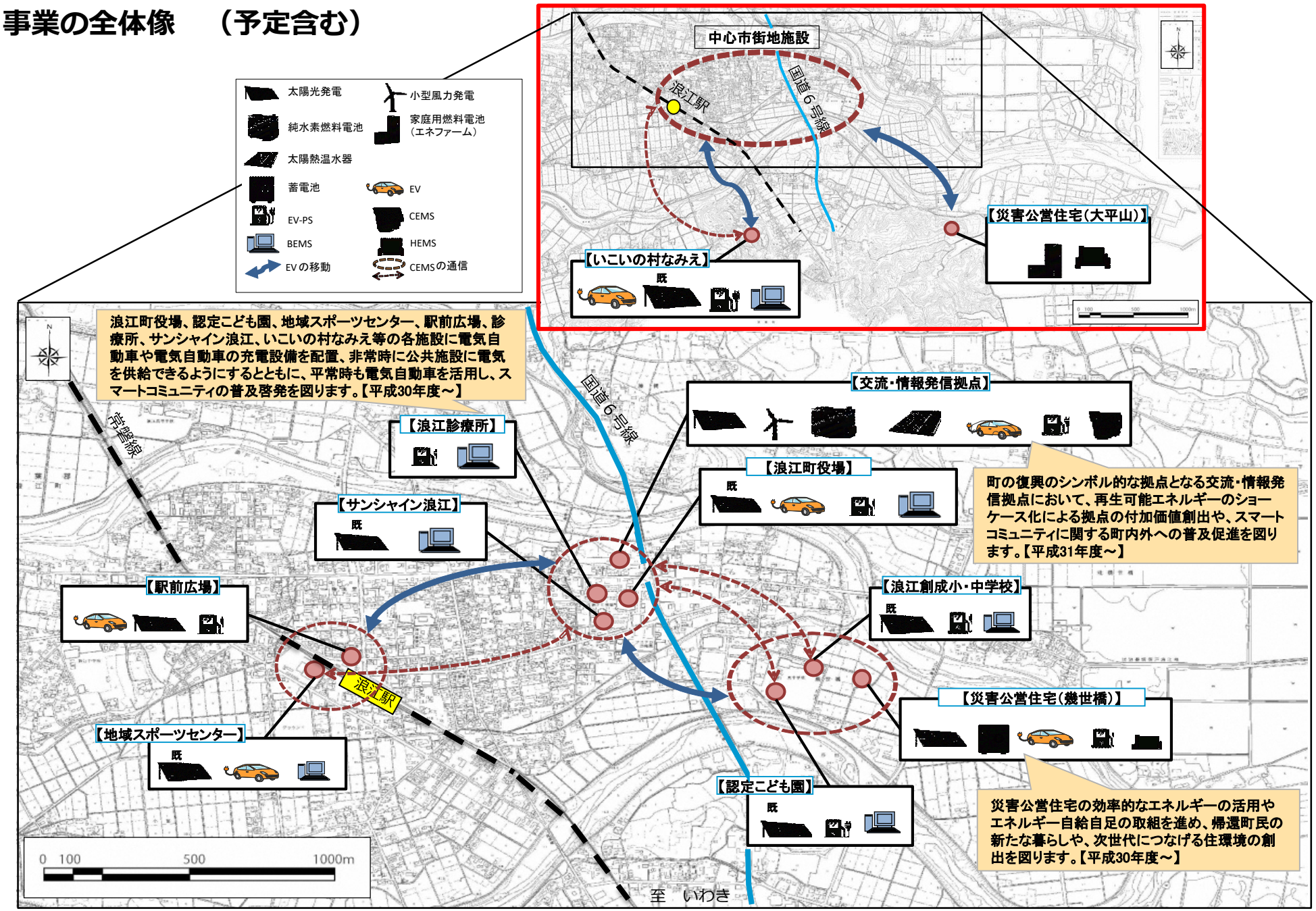
- 浪江町の復興にあたり「非常時の安全・安心」「再生可能エネルギーの導入」「生活利便性の向上と新たな雇用の創出」をスマートコミュニティの構築で目指します。
- 道の駅をエネルギーマネジメント拠点として、交流人口の確保のための拠点整備を通じ、新たなまちづくりの実現を目指しています。
- 復興のシンボルになる事業として「環境への配慮」「暮らしやすさ」「安全・安心」「訪れたくなる」ことを目指します。
- 電気自動車を移動電源等として最大限に活用します。

■ 導入の効果（見込み）

- CEMSとBEMSなどのエネルギーマネジメントシステムの構築により、500ﾄﾝあまりのCO_2削減を目指します。
- 太陽光発電等の積極的な導入により、再生可能エネルギーの導入率を26%とします。
- 電気自動車等の導入により、災害時の重要拠点への電力供給やエネルギーの自立により、災害時の町民等の安全・安心を確保します。



浪江町復興スマートコミュニティ事業イメージ

【事業名】浪江町復興スマートコミュニティ構築事業

■ 事業の全体像　（予定含む）